

5月2日（木）ろう教育部門1「今年度のろう教育部門のワンポイント講座」

1. 昨年度までのワンポイント講座

- ・手話の研修を行った。
- ・季節のものや行事にかかわるものなど、手話を毎回5個程度紹介し、その場で実際に手を動かして練習した。
- ・ワンポイント講座の結果、校内でろう教育部門の子どもたちと挨拶するときに両手の人差し指を向かい合わせて曲げる挨拶の手話を使って挨拶するようになり、明るい挨拶の音が聞こえるようになった。

2. 今年度のワンポイント講座

- ・具体的な教育実践を担当者が紹介する。
- ・乳幼児教室の先生方は、耳が聞こえないかもしれないという赤ちゃんを連れておうちの方とどのように相談しているのか。相談の上でどのようなことを大切にしているのか。
- ・食堂で元気に給食を食べている幼稚部の子どもたちは、教室でどのような活動をしているのか。
- ・自分の声を聴き取ることが難しい子どもたちが、どのように学習して発音できるようになるのか。
- ・聞こえる子どもが自然に耳から入る音声で日本語を習得する中、聞こえにくい子どもはどのように学習するのか。
- ・補聴器や人工内耳はどのようなものか。
- ・手話とはどんなものか。
- ・地域の小中学校に通う難聴の子どもたちが通う通級指導教室は、どのような場なのか。
- ・これらの内容について理解を深め、子どもへの理解を深める機会にしたい。